

プロポーザルの指針は

策定について今後取り組む

質問 本市が各種事業を進めようとする際、民間から技術や企画を提案してもらい、契約相手を決定する公募型プロ

ポーザルにおいて、参加者が一人という事案が見受けられる。評価の専門性、公平性、透明性の担保はどうか。



大和田加代子 (碧い風)

答弁 公募結果として一人のみだったことはあるが、一定の基準を満たす業者であることを確認するため、企画内容の説明を受け、評価基準に基づき審査している。

質問 随意契約のガイドラインやプロポーザルに関する取り扱い要綱の策定は。

答弁 プロポーザルの案件も相当数出ている。指針はあった方がいいと感じており、策定について今後取り組んでいきたい。

旧グランプの総括は

質問 (有)陸高商事(旧)グランプファームの破産手続廃止決定により、本市は損害

れが生まれ、社会的な人口減少が抑制傾向にある。

質問 平成30年の合計特殊出生率は1.91と高いが、今後も人口は減り続ける。この前提をしっかりと見据えた政策展開が重要ではないか。

答弁 現実を捉えつつ、希望も持てるようなまちづくりを進めたい。

を被った。この件についてどのような検証と総括をしたのか。

答弁 企業の事業用地として賃貸する場合においては、事前に事業の内容や規模等の確認に加え、暴風等の自然災害に対する保険加入状況などの把握に努める。賃貸後においても、継続的な経営状況や今後の見通し等の確認に努めるとともに、早期の相談体制の確立を図っていく。

契約の保証は

質問 本市の財務規則によると、契約保証金に関する事項が記載されなければならぬものと思うが、包括業務委

託の基本的な契約書など、記載のないものがあるのはなぜか。

答弁 2回目の契約であり、実績があるので記載しなかった。その部分を改めて契約書に記載すること、お互い確認する意味で必要と考える。今後、市の関係する契約書を見直していきたい。



プロポーザルで業者選定したオーガニックランド

成熟社会の将来展望は

多様な職種の選択肢増やしたい

質問 精神的な豊かさや生活の質の向上を重視し、平和で自由な社会を意味する成熟社会を迎えている中、人口動態などの視点から、本市の特

徴をどのように捉えているか。

答弁 高齢化の進展と出生数の減少を要因とした人口減少が進む一方で新たな人の流



木村 聡 (翔成)

質問 市内では人手不足が発生しているのでは。

答弁 求人はあるが、ミスマッチもあると思う。

質問 本市は2030年までに20社の企業誘致を目標にしているが、職種を増やすことについての考えはどうか。

答弁 例えば、英語を生かした仕事や企画立案など、多

な期待をしている。

質問 中学生は約10年後に就職する時期を迎えるが事業者が未来を見据えた人材像を保護者や生徒に伝える「10年後の就職説明会」といった場が重要では。

答弁 高校生には職業体験の機会を設けている。

政策の客観分析は

質問 市策定の各計画は各委員会で検証されていると思うが、客観的指標による分析も必要では。

答弁 目標到達には、各政策がひも付く。担当課ごとの効果測定は可能ではある。

ピーカンナッツ貸工場は

今夏にオープンする予定

質問 ピーカンナッツ産業振興施設の事業内容はどうか。

答弁 中心市街地のにぎわいと雇用創出、ピーカンナッツの健康効果や食文化の発信

質問 貸工場事業としての財源はどうか。

答弁 整備費約6億円。2分の1が国の地方創生交付金、残り2分の1は過疎債を充当する。市の実質負担分は施設使用料で賄っていく。

「たかたのゆめ」は

質問 ブランド化研究会をつくり、関係者一体となった「たかたのゆめ」の取り組みは。

答弁 市内約60軒で作付けされ、約250トンの出荷数量の見込み。令和2年産は全量販売が完了し、令和3年産もほとんどの販売先が決定見込みにある。

今後の職員の採用は

質問 平成31年度から行政事務の包括業務委託が導入された。市役所は若い人の雇用の場でもある。今後の市職員の採用の考えはどうか。

答弁 今の段階では必要な業務と人員を勘案し、適切な採用に努める。

市財政の状況は

質問 3年前、「財政悪化



ピーカンナッツ産業振興施設

等の間違った話があったが、決算カードから見ると、現在の財政状況はどうか。

答弁 実質収支比率11.7%は県内14市で一番良く、経常収支比率94.5%はおおむね平均的である。